

近代に刊行された服飾関係書、裁縫書を集成し、
その歴史、流行や風俗、女子教育等の貴重資料。

近代衣服書集成

全二回 16巻 増田 美子 編・解説



クレス出版

近代衣服書集成 全二回16巻

第一回 服飾全般 全8巻

第1巻 服制と縫針の歴史

関根正直著『服制の研究』古今書院、大正14年
渡邊 滋著『日本縫針考』文松堂出版、昭和19年

第2巻 近世の服飾研究

斎藤隆三著『近世時様風俗』三省堂、昭和10年

第3巻 洋服と洋服業界の歴史

大阪洋服商同業組合編『日本洋服沿革史』昭和5年

第4巻 洋装案内

宮本 桂仙著『洋服用法社交之指導 紳士の顧問』博文館、明治39年
熊田 恒造編『洋服大全』東京洋装研究会、明治41年
上原浦太郎著『洋服通』四六書院、昭和5年

第5巻 服装改善運動と流行

生活改善同盟会『服装改善の方針』大正9年
服装文化研究会編

『名士の声』これからの服装はドウ改善すべき乎』文化堂出版部、大正10年

大川新吉編『東京百事流行案内』明治26年

大橋又太郎編『衣服と流行』(日用百科全書 第6篇) 博文館、明治28年

第6巻 太平洋戦時下の服飾

斎藤佳三著『国民服の考案』秋豊園出版部、昭和14年

大政翼賛会文化部編『新生活と服飾』翼賛図書刊行会、昭和17年

第7巻 終戦後の合理化と服飾

戸野村操著『営みとしての被服』世界社、昭和24年

花森安治著『服飾の読本』衣裳研究所、昭和25年

第8巻 裁縫教育

成田 順著『小学校に於ける裁縫教材と其の指導法』南光社、大正12年
石田ひろ著『裁縫教育の諸問題』東洋図書、昭和5年

第二回 裁縫関係 全8巻

第9巻 明治の裁縫書1—和服—

久保田梁山著『女学生徒裁縫教授書』上下、内田弥兵衛、明治11年
渡辺辰五郎編『普通裁縫教授書』上中下、石川治兵衛、明治13年
嗟峨野増太郎編

『小学女礼裁縫絵入種本—日本西洋衣服裁縫の教—』日月堂、明治19年

堀越千代子著『和洋裁縫教本和服編』上下、宝文館、明治39年

第10巻 明治の裁縫書2—洋服その1—

勝山 力松著『改服裁縫初心伝初編』明治6年
久永 廉蔵編『小学生徒改良衣服裁縫伝授』正札屋、明治19年

原田新次郎訳『西洋裁縫教授書』兎屋、明治20年

第11巻 明治の裁縫書3—洋服その2—

鈴木 正夫編『和洋男女裁縫独案内』ライオン書房、明治20年
大家松之介編『男女西洋服裁縫独案内全』駿々堂、明治20年

木村 知治編『女子百科全書 洋服裁縫教科書』太陽舎、明治36年

第12巻 明治の裁縫書4—子ども服とミシン—

熊田 恒造編『最新流行小児洋服全書』東京洋装研究会、明治41年
秦 利舞子著『みしん裁縫ひとりまなび』秦商店、明治41年

第13巻 大正の裁縫書1

東京市小学校裁縫研究会編

『時代の要求に適應せる児童服の新研究』白水社、大正11年

片岡さたよ著『簡単な裁縫』松花裁縫研究会、大正15年

第14巻 大正の裁縫書2

共立女子職業学校校友会裁縫研究部編

『増訂裁縫新教科書』上下、大日本図書、大正7年

第15巻 昭和の裁縫書1

木村儉吉訳『最新シンガー式子供洋服の作り方』

シンガー・ソーイング・メシリン・カンパニー、昭和4年

染葉秋宏編『国民服裁縫精義』文化服装学院すみれ会出版部、昭和16年

第16巻 昭和の裁縫書2

成田 順著『子供服の時代化』大成書院、昭和7年



日本服の形式変遷図（『国民服の考案』より）

刊行のことば

増田美子

日本の近代化は、明治新政府による急速な欧風化政策によって推進されていった。この流れの中で、不平等条約の改正を目指し、我が国の文明開化を誇示する手段として重視されたものに、服装の洋装化がある。明治維新後わずか三年足らずで、岩倉具視を団長とした欧米使節団が派遣されたが、彼らの姿を見ると、岩倉具視は髻に羽織袴という和装だが、他の木戸孝允・大久保利通・伊藤博文といった面々は全て、斬髪に背広姿となっている。

このように官員達の洋装化は政府主導でなされていくが、明治四年（一八七二）の「散髪脱刀令」以降は、一般民衆にも次第に洋服普及の兆しが見え始める。これらの洋装化の動きに伴って、洋装のマナー本が盛んに出されるようになった。また、日本人による洋服仕立て屋の開業により、洋服仕立て方の本も種々刊行されるようになる。しかしこれらの書物の大半は既に希少本となり、現在では手にすることが困難な状態である。

本集成は、これらの希少本の復刊を試みたものである。二回に分けての刊行予定であるが、第一回配本は、近代に刊行された服飾関係通史等とともに、日本の洋装化の流れの中での人々の洋服への対応の姿が捉えられるように配慮した。明治中期の洋服案内本、明治末から大正期にかけての衣服改良の動き、洋服・和服の流行についての解説、更には太平洋戦争時の国民服、そして終戦直後の物資不足と家庭生活の合理化の動きの中の衣生活といった時代の流れがわかる形での構成である。

第二回配本は、洋裁本の復刻に主眼を置いた。特に子供服の洋装化は早く、家庭での製作が求められていたこともあり、家庭における子供服製作本を多く収録した。また洋装化の流れとはいえ、依然として女性の大半は和服での生活であり、女性の嗜みとして重視された和服製作の改良の動き等も考慮して組み入れている。

本集成の刊行によって、従来は国会図書館や一部の大学図書館に足を運ばなければ閲覧できなかった諸本を手に出ることが出来るようになるであろう。そして本書を紐解くことによって、近代日本の衣文化研究が更なる発展をみせてくれることを期待する。

（学習院女子大学名誉教授）

第3巻

洋服と洋服業界の歴史

第一篇 洋服と洋服業界の沿革

一五四

一、第五内博と洋服業界

イ、洋服の大需用

明治三十六年三月一日より大阪市天王寺公園内に第五回内國勸業博覧會が開催せられ洋服の大需要を見るに至つた。

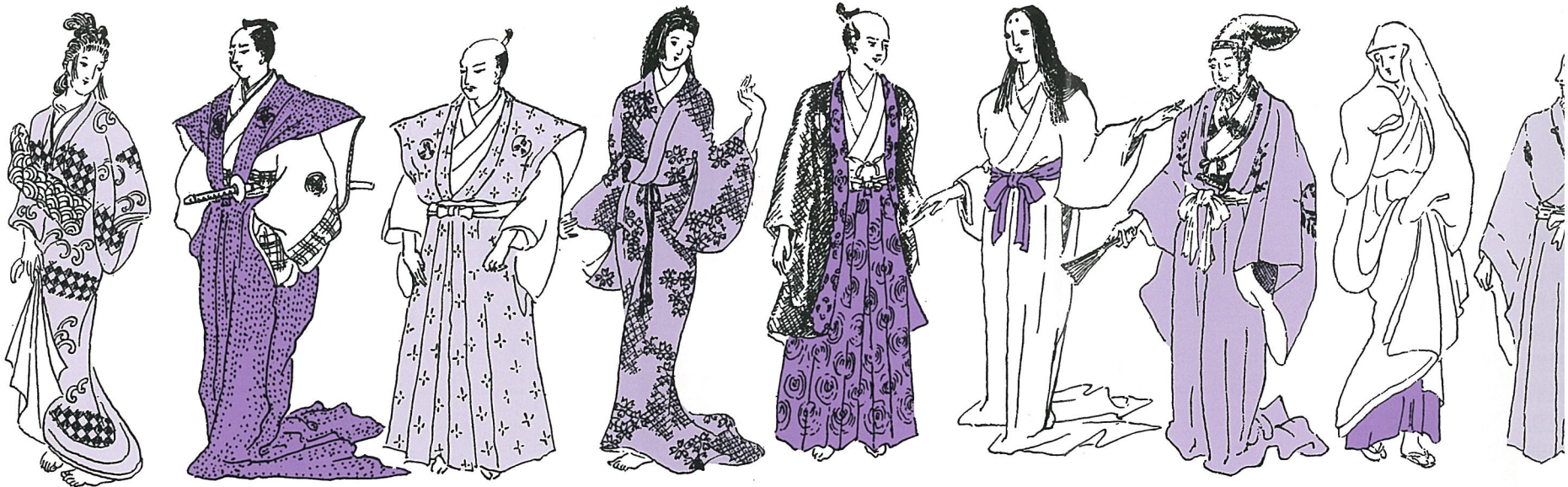
即ちこの「博覧會式場参列者の服装」を普通人は「燕尾服」有位有爵者は所定の「位階服」即ち大禮服着用に限られ絶體羽織袴の着用を許さなかつた事である。殊に此の年は明治天皇及び昭憲皇太后御同列にて此の地へ行幸啓遊ばされるとの御事だったので、紳士淑女間には「燕尾服」「サタコト」「背廣服」「アウチンクスマン」「婦人服」等調製するものが多く出でこれ等の注文が嶄然として附近の業者に寄せられた爲業界頗る活況を呈した。

ロ、關西一ツ物園の大競争

上述の第五内博の開催せられた結果、今迄比較的大禮服及び



（景光の集雲客觀一門正博内五第）



第4巻 洋装案内

一體日本の家屋と洋式の家屋とでは、外套の防寒性に對して必要の度を異にする。洋式なら



新しき趣向を凝らしたる
 トーコーバーオーフ
 右前胸のツツボを縫目にして現下胸の側面に切
 左は取らずにツツボを附す。
 (旅行用)トローコーバーオーフの自由

ば、室内は完全な暖房に依つて可なり温度を與へてあるから、不合理な下着の重着を餘儀なくされる

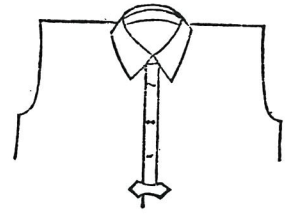
こともないので、室内では薄着で外室の際丈け、毛皮裏のやうな高度の防寒衣を用ひ得るが、日本式の家屋では之が許され難い。普通日本の寒がり屋のするやうに、ラクダのメリヤスを二

第12巻 明治の裁縫書4 — 子ども服とミシン —

第八、大人飾衿シャツ裁方

用布二尺幅、五尺七寸(第八圖を見よ)
 ○同上縫方順序

此シャツは普通シャツに飾衿を附けたるのみ。されば此處には只飾衿の縫方丈けを記すべし。



先づ飾衿を中表に重ね飾衿裏切れの方を一分程ずらして飾衿部分裁方圖其一に示したる、長さ五寸一分に六分のナリを附けたる處丈けを残し、他の三方を一分五厘程の縫代にて縫合すべし。裁方其二の方は山が輪なる故兩端のみを縫合す(番表に反して飾ミシンを懸け、次に縫ひ残し、一方を、二枚共に下衿上端の表と裏との間に挟み、飾衿の中央と下衿の中央とを確とマチ針にて止め、飾衿下衿共裁目を延さぬ様クりに沿うて叮嚀にマチ針をうち、左右の端を揃へて、普通シャツの衿の如くに縫合すべし。

第九、十四五歳位の飾衿(ダブルカラー)形シャツ裁方
 用布二尺幅、四尺一寸

近代衣服書集成 全二回16巻

増田 美子 編・解説

■第一回 服飾全般 全8巻

第1巻	服制と縫針の歴史	定価12,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-870-1
第2巻	近世の服飾研究	定価10,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-871-8
第3巻	洋服と洋服業界の歴史	定価12,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-872-5
第4巻	洋装案内	定価13,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-873-2
第5巻	服装改善運動と流行	定価11,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-874-9
第6巻	太平洋戦時下の服飾	定価10,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-875-6
第7巻	終戦後の合理化と服飾	定価11,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-876-3
第8巻	裁縫教育	定価13,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-877-0

■第二回 裁縫関係 全8巻

第9巻	明治の裁縫書1 一和服一	定価16,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-879-4
第10巻	明治の裁縫書2 一洋服その1一	定価9,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-880-0
第11巻	明治の裁縫書3 一洋服その2一	定価12,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-881-7
第12巻	明治の裁縫書4 一子ども服とミシン一	定価8,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-882-4
第13巻	大正の裁縫書1	定価8,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-883-1
第14巻	大正の裁縫書2	定価14,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-884-8
第15巻	昭和の裁縫書1	定価13,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-885-5
第16巻	昭和の裁縫書2	定価12,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-886-2

A5判/上製函入り/クロス装

- 第一回 服飾全般 全8巻 揃定価92,000円 (税別) ISBN978-4-87733-878-7 (セット) 平成27年5月末刊行
■第二回 裁縫関係 全8巻 揃定価92,000円 (税別) ISBN978-4-87733-887-9 (セット) 平成27年10月末刊行

クレス出版好評既刊書

近代料理書集成 一日本の食文化史 全13巻

江原 絢子 編・解説

第1巻	西洋料理 (1)	定価12,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-637-0
第2巻	西洋料理 (2)	定価14,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-638-7
第3巻	家庭料理 (1)	定価12,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-639-4
第4巻	家庭料理 (2)	定価12,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-640-0
第5巻	家庭料理 (3)	定価12,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-641-7
第6巻	菓子・パン	定価14,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-642-4
第7巻	中国料理	定価11,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-716-2
第8巻	材料別料理	定価12,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-717-9
第9巻	弁当・漬物	定価11,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-718-6
第10巻	調理実習教科書	定価10,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-719-3
第11巻	戦時下の料理 (1)	定価12,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-720-9
第12巻	戦時下の料理 (2)	定価12,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-721-6
第13巻	時局下の料理 (3)	定価12,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-722-3

- 第一回配本 第1巻～第6巻 全6巻 揃定価76,000円 (税別) ISBN978-4-87733-643-1 (セット)
●第二回配本 第7巻～第13巻 全7巻 揃定価80,000円 (税別) ISBN978-4-87733-723-0 (セット)

庖丁鹽梅 全三十七集四巻

江原 絢子 監修・解説

- 従来の伝統食を見直そうとする視点
●近代西洋科学をも積極的に取り入れている食品分析
●西洋料理、支那料理も紹介
●女子教育の視点も持つ料理雑誌

揃定価50,000円 (税別) ISBN978-4-87733-849-7 C3377

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋
☎(03)3808-1821 ㊚(03)3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>



株式会社クレス出版

●書店名